

4年  
4  
解説

## 式による表現

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組  
名前

$$70 - (13 + 8)$$

( ) のある式では、( ) の中をひとまとまりとみて、先に計算します。

$$70 - (13 + 8) = 70 - \overset{\text{①の答え}}{21}$$

$$= \overset{\text{②の答え}}{49}$$

$$13 + 2 \times 4$$

式の中のかけ算やわり算は、たし算やひき算より先に計算します。

$$13 + 2 \times 4 = 13 + \overset{\text{①の答え}}{8}$$

$$= \overset{\text{②の答え}}{21}$$

$$70 - (13 + 2 \times 4)$$

① ( ) の中をひとまとまりとみて、先に計算するので、 $13 + 2 \times 4$  から計算します。

( ) の中を先に計算する。

$$70 - (13 + 2 \times 4)$$

② かけ算やわり算は、たし算やひき算より先に計算するので、 $13 + 2 \times 4$  では、 $2 \times 4$  から計算します。( ) の中の計算が終わったら、残りの計算をします。

かけ算から先に計算する。

$$70 - (13 + 2 \times 4) = 70 - (13 + \overset{\text{①の答え}}{8})$$

$$= 70 - \overset{\text{②の答え}}{21}$$

$$= \overset{\text{③の答え}}{49}$$

( ) を使った式や、たし算やひき算と、かけ算やわり算がまざった式では、計算のやくそくを使って、計算する順番を考えることが大切です。